

⑭ 監事講評

外部監事 石橋 宏章

廣瀬理事長を筆頭に、コロナ禍と戦時下にある二国の影響もあり物価高に歯止めがかからない状況という大変厳しい社会情勢の中、メンバー一丸となり、JC活動・運動を展開し挑戦する姿は頼もしく映って見えました。一年間大変お疲れ様でした。

37年目となった本年は、廣瀬理事長のリーダーシップのもと、JC歴の浅いメンバーが積極的に会議所活動に励まれ、新しい考え方や物の見方や捉え方など、もとみやJCのNew Normalを築けたのではないかと思います。

地域には、コロナ禍からくる閉塞感がまだまだ立ち込めており、不安が渦巻いています、そのような中で地域の方々に楽しんでもらう、考えてもらう、喜んでもらう、学んでもらう、笑顔になってもらう為に考えぬいて本年一年間取りくんできた様々な事業や活動は、メンバーや地域の方々の心を大いに育まれたものと思います。

そして、本年度の反省点、課題を引継ぎ、次年度も素晴らしい一年となるように、今後のJC活動・運動に活かして頂き、家族の為、会社の為、地域の為に、更なるご活躍を期待しています。一年間大変お世話になりました。有難うございました。